

令和2年度水稻作況情報

○耕種概要

- ・場所 和歌山県農業試験場内圃場（和歌山県紀の川市貴志川町高尾 160）
- ・供試品種 キヌヒカリ・きぬむすめ・ヒノヒカリ
- ・播種期 5月21日
- ・移植期 6月10日
- ・移植方法 機械移植3本植
- ・栽植密度 20.8株/m²(16cm×30cm)
- ・施肥施肥 (N・P₂O₅・K₂O kg/10a)
基肥 4.8-7.2-5.6 追肥①（幼穂形成期頃） 2.4-0-3.0 追肥②（追肥①の10日後頃） 2.4-0-3.0

○気象

・育苗期間

気温は5月の播種期以降。平年並か平年よりも高く推移した。降水量は平年よりも少なくなり、日照時間は期間を通して平年を大きく上回った。

・生育期間

気温は6月第3半旬は平年よりかなり高く推移し、6月第4半旬から7月第1半旬にかけては平年並か平年よりやや高く推移し、7月2半旬以降は平年よりも低く推移した。日照時間は6月第5半旬には平年を上回ったものの、そのほかの期間は平年を下回り、特に6月第3半旬および7月第2半旬は平年を大幅に下回った。また、降水量は多く、6月第4半旬および6月第6半旬から7月第2半旬には平年を大幅に上回った。

○生育概況

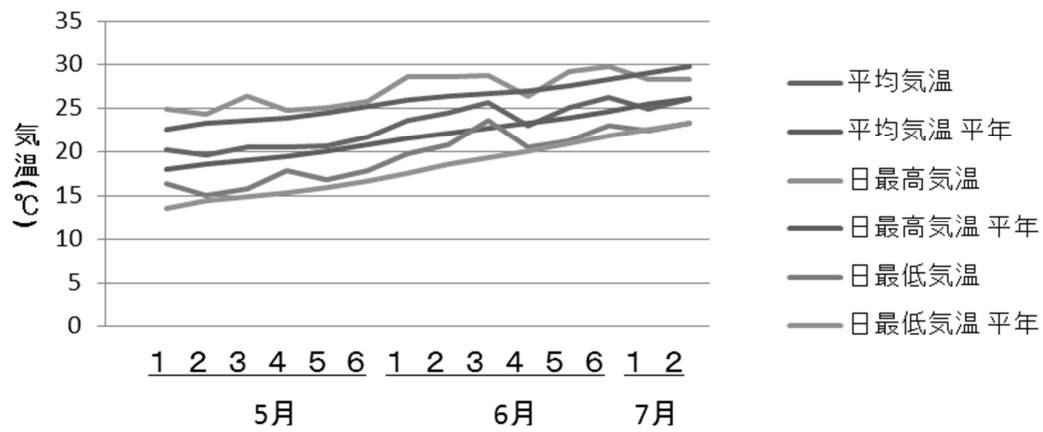
・育苗期間

苗質は、いずれの品種も葉齢はほぼ平年並みであった。草丈は‘キヌヒカリ’で平年を上回り、‘ヒノヒカリ’で平年を下回った。一方、乾物重はいずれの品種も平年並か、平年を上回った。

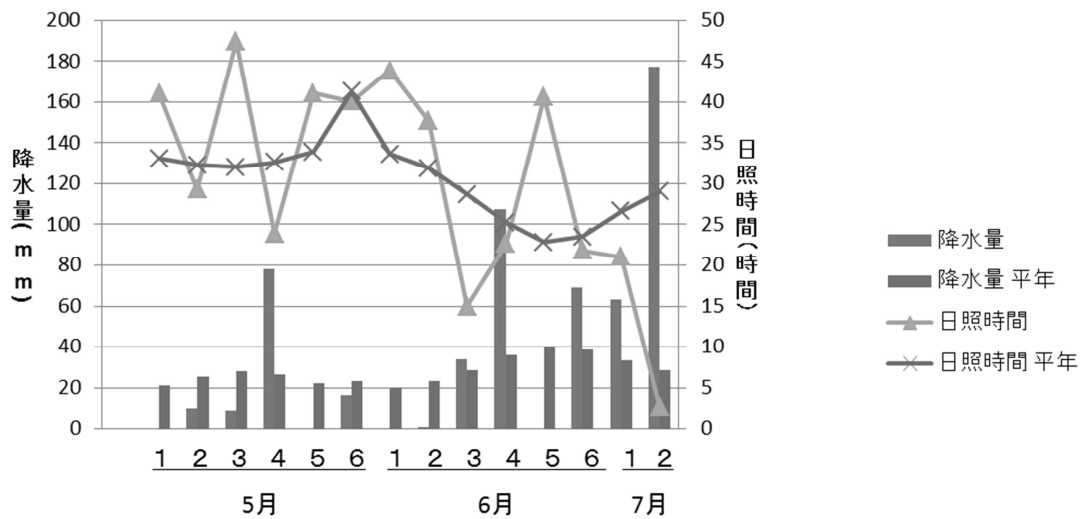
・生育期間

葉齢は、いずれの品種も平年をやや下回って推移した。草丈は、いずれの品種も移植後10日（6月20日）では平年を上回ったが、その後、移植後30日では、‘ヒノヒカリ’で平年並となった。茎数は、いずれの品種も移植後20日までは平年並み、移植後30日では平年を大幅に下回った。

項目	調査日	キヌヒカリ				きぬむすめ				ヒノヒカリ						
		本年	前年比	平年比	葉	本年	前年比	平年比	葉	本年	前年比	平年比	葉			
葉齢(葉)	6月10日	3.3	0.0	葉	0.1	葉	3.1	-0.1	葉	-0.1	葉	3.4	0.0	葉	0.0	葉
	6月20日	4.9	-0.3	葉	-0.4	葉	5.0	-0.2	葉	-0.2	葉	5.0	-0.2	葉	-0.3	葉
	6月30日	8.0	-0.2	葉	-0.1	葉	8.0	-0.3	葉	-0.3	葉	8.1	-0.1	葉	-0.1	葉
	7月10日	10.1	-0.1	葉	0.0	葉	10.0	-0.2	葉	-0.3	葉	10.1	-0.1	葉	-0.2	葉
草丈(cm)	6月10日	16.6	137	%	107	%	15.2	117	%	98	%	13.2	99	%	91	%
	6月20日	29.6	124	%	130	%	27.0	128	%	113	%	22.8	113	%	111	%
	6月30日	36.5	102	%	109	%	32.5	103	%	101	%	26.8	91	%	93	%
	7月10日	62.3	104	%	111	%	55.5	103	%	105	%	47.5	100	%	102	%
茎数(本/m ²)	6月20日	63.5	100	%	100	%	63.3	98	%	99	%	62.8	98	%	99	%
	6月30日	196.5	117	%	102	%	170.1	111	%	97	%	186.1	117	%	99	%
	7月10日	235.1	81	%	66	%	227.1	70	%	63	%	250.0	84	%	67	%
乾物重(mg/本)	6月10日	21.8	87	%	109	%	20.7	88	%	106	%	19.3	83	%	102	%



半旬別気温の推移(2020)



半旬別降水量および日照時間の推移(2020)